

大阪 か、せ、い

令和3年号
編集・発行
令和3年4月3日
大阪偕星学園高等学校
教育後援育友会
〒544-0021
大阪市生野区勝山南2丁目6番38号
TEL.(06)6716-0003 FAX(06)6716-0009

時代と環境の変化に負けない力と 知性を育てていこう



理事 長 弘
太田 明

令和三年の春に、希望あふれる新入生の皆さんをお迎えして本校の新学期が始まったことを大変うれしく思います。昨年の今頃は、新型コロナウイルスの感染拡大により、入学式も行えないまま新学期を迎えるという残念な状況に置かれていました。そして今も見えないウイルスとの闘いが続いています。学校で普通に授業を受けて友だちと語り合うだけのことが、今ほどうしみじみ有り難く思える時代はかつてなかったのではないのでしょうか。新入生の皆さんには、これからの本校での高校生活を大切に、有意義な日々を過ごされることを心から願います。

社会で汗を流しながら働く人たちの暮らしぶりは良くなるという厳しい現実があります。これが教育格差の問題にもつながっています。学校教育は、生徒が生まれ育った家の経済力によって将来が左右されることのないよう力を尽くすべき義務があります。本校もそのような責任感をもって、新入生はじめて在校生の皆さんを全力でサポートしていきたいと思えます。

高校生活で大切にすべきことの一つとして、自分という人間をよく知ることがあります。自分の性格や能力は何に向いているのか。どういうことなら自分は夢中になって努力できるのか。このようなことを考えながら本校での高校生活でいろいろなおことに前向きにチャレンジしてください。高校生活は将来の飛躍のための助走期間にあたります。スポーツや勉強だけでなく音楽や文化面においても関心のあることにひた向きに取り組みながら、自分の可能性を試し、将来の進路を定めることが望ましいと思います。

今春、本校は大学進学において、国立、有名私大等に多数の合格実績を挙げることができました。自分のキャリアデザインにもとづいて専門学校や実社

会に進んだ生徒たちもいます。どのような選択肢においても皆さんの大切な夢を実現するように、本校は今年も教職員一同、力を合わせてしっかりとバックアップしていきます。そして、かけがえのない生徒一人ひとりを大切に育てる学校であることを願っています。

それぞれに星の輝き



校長 秀二
梶本

新入生の皆さん、ならびに保護者の皆さま、ご入学まことにめでとございませす。皆さまを本校の生徒として迎えられたことを心から嬉しく思います。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、楽しみにしていた様々な行事が中止になり、悲しく、残念な気持ちになった人も多いかと思えます。このように、人の一生はいつどのようなことが起こるか分かりません。ですが、皆さんがどのような出来事に遭遇しても、状況をしっかりと見据え、社会に出てからも本校で学んだことが活かせるような、付加価値の高い学びを提供したいと思えます。

本校は1929年に創立し、90年を超える伝統のある学校です。この90余年の間には数多くの卒業生を輩出し、オリンピックに出場した人、会社を経営している人、一般社会人として一生懸命仕事に取り組んでいる人：いろいろな先輩方がいます。それぞれが本校で過ごした三年間や進学

先で自分の夢を見つけ、輝いています。皆さんにも、これから先の人生において、自分がどのような「星」として輝くことができるのかを見つけ、それぞれにしかできない輝き方で輝いて欲しいと思います。そのために、本校で学ぶ限られた三年間のうちにいろいろなことにチャレンジしてみてください。そして我々もそれが見つけられるよう、精一杯サポートしていきたいと思えます。

皆さん一人ひとりにもいろいろな可能性があります。どのような未来を選んでも、それぞれが選んだ道で自信を持って輝いて欲しい。自分自身を見捨てずに、「自分もやればできるんだ」と信じていることができる人は、必ず伸び続けます。本校では自分の可能性を信じ、自分を見捨てずに生きていける人間力を育てていきたい。その力こそ、時代が変わるうとも変わる。このために、大切な力の二つだと思えます。そのために、校長として教職員全員と力を一つにし、一人ひとりの生徒に居場所のある学校、愛と信頼のある学校作りを進めていきたいと考えています。

最後に、保護者の皆さまに一言お願いを申し上げます。私たちは本日より、責任をもってお子様をお預かりし、三年後には大きく成長した姿で卒業生として送り出したいと考えております。本校でも一生懸命に指導をしておりますが、ご家庭のご協力をお願いし、お子様の成長とともに見守っていただくことができると存じます。今後とも本学園へのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



育友会活動について



教育後援育友会会長
伊藤 智子

春陽の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。新入生の皆さまならびに保護者の皆さま、ご入学誠にありがとうございます。そして在校生の皆さま、ご進級心からお祝い申し上げます。

教育後援育友会一同、心よりお喜び申し上げますとともに、保護者の皆さまには入学以来教育後援育友会活動へのご理解とご協力を賜りまして感謝申し上げます。

本会は会則にありますように、「学校教育の目的の達成のために協力するとともに家庭教育および社会教育の振興を図ること」を目的として活動しております。大阪借星学園高等学校に在籍する全ての生徒の保護者および教職員による教育後援組織であり、学校における主役である生徒一人ひとりが、充実した学校生活を過ごせるようなサポート活動を行っております。中学校時代と違い、高校では保護者同士のつながりが希薄になります。教育後援育友会活動に積極的に参加して頂くことで、先生方や生徒の皆さまと接する機会も多く、子どもたちの高校の思い出を多く分かち合うことができます。親が十分に関わることのできる最後の三年間は思っているより足早に過ぎ去ってしまいます。本校は多様なコ

ースがあり、生徒たちはそれぞれの思いで自分の道をしっかりと歩み頑張っています。教育後援育友会活動に気軽に参加いただき、保護者同士の絆を深め情報交換やサポート活動をしながら、それぞれの場で頑張る生徒たちを保護者および教職員で支えて参りましょう。

さて、教育後援育友会活動の紹介をさせていただきます。本会では年に三〜四回の定例会、他に各行事の準備やお手伝いをお願いしております。具体的な例を挙げますと、昨年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、大阪城ホールでの体育祭では生徒たちへの応援や保護者競技への参加をお願いしております。各クラブの保護者の皆さまや先生方も参加されますので大変盛り上がりです。また、文化祭では、くじ引き・カレーの出店・スタンプラリーを開催し、当日は皆さまのご尽力のおかげで子どもたちに大盛況で充実した一日となりました。さらに、秋の社会見学では、滋賀県近江八幡市で水荳焼陶芸の里にて絵付け体験に挑戦しました。行事等の準備段階では大変なこともあります。先生方のお力添えをいただきながら生徒たちにより近いところで活動できることは、貴重で幸せな経験となっております。

教育後援育友会活動は子どもを思う気持ちで成り立っております。お仕事、子育て、ご家族の介護などご多忙な日々を送っていらっしゃる保護者の皆さまのお力添えをいただき、コロナ禍ではございますが「子どもたちの為に全ての行事をできる限りしていきたい」という本校の考えに基づいて、先生方とともに子どもたちを全力でサポートできるよう努めて参ります。どうか今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

文化祭



招待客ゼロのこじんまりとした文化祭となりましたが、生徒たちの才能あふれる作品や発表と、3年生のクラスごとに企画したセンスある模擬店は大盛況のうちに終わりました。



育友会からはカレーライス販売、くじ引きで参加させていただきました。残念ながら、バザーは中止に。事前にご提供いただいた品々は来年度に使わせていただきたいと思います。



社会見学



貸切バスにて滋賀県近江八幡市へ。まず『水荦焼陶芸の里』で絵付け体験。昼食は近江牛ランチ、そして屋根一面が芝で覆われた自然あふれる『ラコリーナ』でお土産（どら焼きや焼きたてバームクーヘンなど）を購入。帰りのバスの中ではビンゴゲームで景品ゲット、保護者同士の会話もはずみ、校長先生と教頭先生とも親睦を深めることができ、あつという間の貴重な1日となりました。

修学旅行

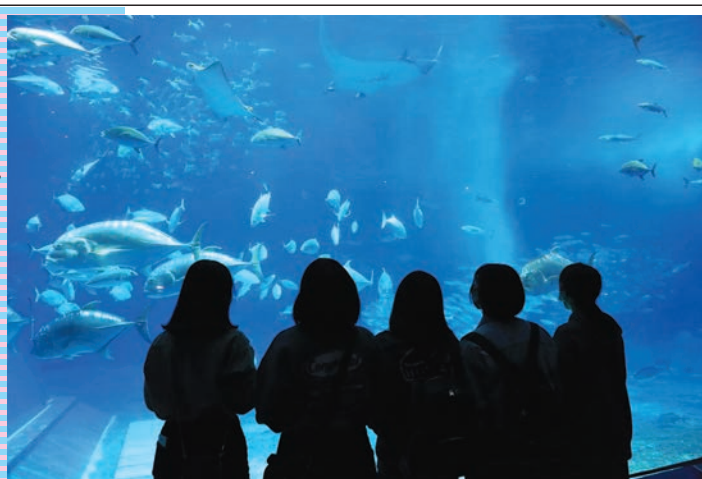


12月13日から4泊5日の日程で、2年生の文理進学・進路探究コースの生徒たちが、修学旅行に参加しました。いずれも当初は海外を予定していましたが、急遽行き先を沖繩へと変更しての実施です。様々な不安を抱えながらスタートしましたが、生徒たち自身や受け入れ先の施設の方々、旅行業者の方々や引率の先生方がそれぞれ細心の注意を払いながら、全行程が無事に終え、楽しく実のある修学旅行となりました。

文理進学・進路探究コースは、この時期の沖繩にしては天候に恵まれ、各行程を楽しみました。とりわけ生徒各自が選択した体験活動では、カヌーや



水牛車に乗ったり、離島ならではの珍しい景色を楽しんだりしました。また、宿泊したホテルは、どちらも通常簡単には予約がとりにくい高級ホテルで、施設やおいしい食事を堪能しました。一方、スポーツコースでは、悪天候に負けず、元気に楽しんでいる姿が見受けられました。それぞれが創意工夫をし、自分なりのシーサーを作ったり、各グループに分かれて各自選択した体験を楽しんだりしました。また四日目には、バナナボートやシュノーケリング、シーカヤックなど、全日、海での活動となりました。曇ってはいましたが、海は素晴らしく美しい色を見せてくれ、生徒たちからはその美しさに感動する声が多く聞かれました。



高校生活のなかでも特に大切な行事に数えられる修学旅行を、本年度無事行えたことは、参加生徒はもちろんのこと、保護者のみなさまにとっても喜ばしいことだったのでないでしょうか。その成功の裏には、関わった数多くの人々の努力や心配りがあつたことを忘れないようにしたいと思います。

令和2年度 体育系クラブ
優秀成績

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、インターハイ予選や各種大会が中止となる競技が多数ありました。その中で開催されました全国大会・近畿大会・大阪府内大会の優秀戦績を掲載させていただきます。

令和2年度 全国大会戦績表

女子ソフトボール部

第66回 全国私立高等学校
女子ソフトボール選抜大会
(令和3年3月 開催予定)

自転車競技部

2020 JCSSPA
ジュニアサイクルスポーツ大会 全国大会
令和2年度 全国高等学校総合体育大会
自転車競技大会
(選抜大会中止に伴う全国大会 出場)

令和2年度 近畿大会戦績表

柔道部

第62回 近畿高等学校新人柔道大会
男子・女子団体戦出場 女子個人戦出場

バドミントン部

第66回 近畿高等学校
バドミントン選手権大会
女子ダブルス ベスト16
女子シングルス ベスト16

空手道部

第40回 近畿高等学校空手道大会
出場権獲得
(新型コロナウイルス感染症により大会中止)

自転車競技部

近畿地区自転車競技大会
1km タイムトライアル 7位
令和2年度 大阪府内大会

女子ソフトボール部

大阪府私立高等学校
秋季新人大会 優勝

サッカー部(男子)

令和2年度 第75回大阪総合体育大会
兼 第99回全国選手権大会予選
ベスト16

柔道部

第70回大阪府高等学校 新人柔道大会
女子団体5位
男子団体9位
女子個人(48kg) 準優勝

バドミントン部

第67回大阪高校総合体育大会
男子団体 準優勝
女子団体 準優勝



ハンドボール部

第72回大阪高等学校新人大会
兼 全国高等学校選抜大会予選
4位

空手道部

第44回大阪府高等学校
空手道選手権大会
男子団体(形) 7位

クラブ活動及び生徒会活動

●女子ソフトボール部

先輩たちの感動的な最後の試合を経て、新チームはスタートしました。当初はいろいろな点で意識のレベルが低く、初めての合宿・遠征でも「中学生の修学旅行以下」と言われる程の取り組みの甘さでした。練習試合でも、ゴールド負けを含む、悔しく、情けない試合を繰り返しました。

そのため、2年生(新3年生)を先頭に、練習への取り組みを変え、少しずつ力をつけていきました。秋の最も大きな大会である「選抜大会予選(新人戦)」では、準決勝で敗退し、力のなさを痛感しました。

そして、その一週間後に行われた「私学新人戦(全国私学大会大阪府予選)」では、全員の力を結集し、4試合を勝ち抜き、チームとして大会初優勝を勝ち取り、全国私学大会の出場権を得ることができました。皆で必死に頑張り、優勝することはできませんでしたが、まだまだ個人もチームも力不足です。支えてくださる方々に感謝し、春の大会までに実力を養い、上位を目指して頑張りたいと思います。

文化系クラブ紹介

●かるた同好会

(令和2年度より新設)

「かるた部を作りたいんです。」
かるた同好会は、昨年度、一人の生徒(現在の部長)の強い願いから、クラスメイト2人を誘って3人でスタートしました。今年度はコロナ禍の休校で遅れましたが、正式に同好会としても認められ、新入部員4人も加わり、本格的に活動を開始しました。

活動内容はまだまだ手探りで、部員のほとんどが特進コースの生徒であるため放課後の活動時間が限られています。毎週楽しみながら百人一首を使った1対1の競技の練習をしています。



進路指導部より

大学入試合格速報

合格速報

● 大阪府立大学	1名
● 兵庫県立大学	1名
● 釧路公立大学	2名
● 防衛大学校(1次)	4名
● 航空保安大学校	1名
● 立命館大学	1名
● 関西大学	21名
● 関西学院大学	5名
● 近畿大学	47名
● 京都産業大学	18名
● 龍谷大学	15名
● 桃山学院大学	60名
● 追手門学院大学	7名
● 摂南大学	27名
● 神戸学院大学	1名

その他大学合格者多数
3月22日現在



令和2年度大学入試を振り返って

昨年度の入試を振り返りますと、受験学年の3年生にとつて、4月は波瀾の幕開けとなりました。言うまでもなく、コロナ禍による緊急事態宣言下での休校措置です。年度当初、約2ヶ月間登校できないという、受験生にとつては異例の学期スタートとなりました。

この状況を受けて、本校では教科別に週ごとに課題を郵送するという措置を取りましたが、特に3年生に関しては受験に通用し、かつ家庭学習という制限された学習状況においても有効に活用できる質の高い課題を各教科で厳選するように心掛けました。また、これと並行して本校では独自にICTを活用したオンライン授業やHRを展開し、他校とは一線を画す学習体制を整えることができました。

進路指導部といたしましても、休校期間中および学校再開後を通じて、オンラインによるオープンキャンパスに関する情報や、オンライン上の入試対策ツールの提供をその都度行うよう心掛けました。また、学校再開後も、情報不足にならないよう、ガイダンス等の進路行事は極力、中止せずに密を避けた形で放送を用いるなど、形式を工夫して実施いたしました。

以上の甲斐あつてか、本校の昨年度の大学入試結果については、「コロナ禍の影響をさほど受けることなく、「産近甲龍」に至つては過去最高の合格者数を記録するなど、3年生の生徒たちはかなりの健闘ぶりを見せてくれました。

今年度の大学入試を迎えるにあたって、まだまだコロナ禍の完全収束は期待できそうにありません。しかし、本校ではこ

の4月より全館においてミユギが完備されることもあり、授業展開・情報発信等において、さらにバージョンアップした進路指導に今後も努めて参りたいと考えております。

広報委員会より

新型コロナウイルスによる行事の縮小や中止の中で、感染防止対策をしながら、文化祭と社会見学は例年通り開催されました。人と会えず、直接会話もできず、コミュニケーションの大切さが身に染みて分かりました。また、このパンデミック禍により世界の至る所で川の水が澄み、大気が綺麗になり山が見えたそうです。悪いことばかりではなく、良いこともあつたんだと。常に身近にある本当に大切なものを改めて大事にしたいと気付けられる1年間でした。

最後に、お忙しい中、ご協力賜りました皆様、本当にありがとうございます。心より感謝いたします。

